

長野県治水・利水対策推進本部  
本部長 田中 康夫 様

平成 16 年(2004 年) 6 月 2 日  
上川流域協議会  
座長 塩原 俊

## 「A 区間の河川改修計画」についての提言書

### 1. 高水敷掘削について

全掘削とせず、幅は兩岸とも 5m を、高さは常時満水位より 30 cmを目安に残す。

### 2 . 河床掘削について

- ・ 第 10 回資料-2「河川改修計画案説明図 計画 縦断図」の計画河床高とする。

### 3 . わかさぎ採卵業について

- ・ 上記 1 . による低水路幅、2 . による河床高で、将来にわたり保全されるようにする。

### 4 . 堤防嵩（かさ）上げについて

- ・ 橋の架け替えは、渋崎橋とする。
- ・ 嵩上げは、優先すべき箇所から実施する。
- ・ さらに、全体的な嵩上げについては、流下能力向上と堤防構造の許容範囲で計画し、川沿いの区および住民の合意をはかる。

### 5 . 右岸引堤について

- ・ 1 . ~ 4 . の改修計画で流下能力不足となる場合は、六斗橋下流を対象に最小限の引堤とする。
- ・ 河口部（上川大橋上流を含む）も引堤して流下能力向上の効果を高める。

### 6 . 余裕高について

- ・ 余裕高 100 cmは設けるが、××cm程度、洪水防御対応とすることを国と交渉する。